



黒潮

〈校訓〉
前進

伊仙町立伊仙中学校

「最近地震が多くて心配です」

校長 高橋 裕雅



最近国内各地で地震が多発しています。今年、関東大震災から100年、また鹿児島8.6水害から30年の年です。日本の歴史には、大震災と呼ばれるものが三つあります。その内容は次のとおりです。

関東大震災	1923年9月1日 11時58分発生	震度6	死者・行方不明者10万人余 約9割火災による死
阪神淡路大震災	1995年1月17日 5時46分発生	震度7	死者6,434人 約8割圧死・窒息死
東日本大震災	2011年3月11日 14時46分発生	震度7	死者・行方不明者22,318人 約9割津波による溺死
熊本地震	2016年4月16日 1時25分発生	震度7	死者276人 約7割災害関連死

(※参考 南日本新聞 令和5年1月30日付「時論」)

地震の発生した年代や時刻、場所、建物の状況、津波の有無等で特徴は異なってきますが、最後に付け加えた熊本地震の災害関連死は、社会の高齢化が進むと一層顕著になるかもしれません。

災害前の備え、発生時の行動、発生後の生活等それぞれの段階での対応を考える必要があります。

先日、避難訓練を実施して様々なことを学習しました。一つには、物の固定や整理整頓の大切さです。夜寝ている時に、身体に物が落ちてこないようにする。学校では、高い所に物を置かない(崩れると避難経路をふさぎます)。また、旅行の時には、非常階段の位置を確認する。ただ、何より大切なのは意識の持ち方です。避難訓練を、ただの訓練と思うのか、実際に想定して真剣に取り組むのか。スポーツには「試合は稽古のごとく 稽古は試合のごとく」という言葉がありますが、いかに本番や実際に想定して普段から対処していくかが、いざという時に生死を分けるのではないのでしょうか。かつて熊本地震で被災した生徒を受け入れたことがありますが、心の傷、地震への恐怖はなかなか消えませんでした。できる備えを一つずつ取り組みたいと思います。

避難訓練 (5/2)

万が一に備え、真剣な態度で訓練に臨むことができました。



生徒総会 (5/1)

生徒会役員を中心に「自分たちでつくる学校」を目指しています。



全国学力・学習状況調査「話すこと」(5/12)

英語の「話すこと」に関する学力調査がありました。ヘッドセットを付けてタブレットを使っての調査でした。



高校説明会 (5/30)

今回は、会の進行や案内係を3年生が担当しました。これを機会に将来の進路について主体的に考えていきましょう。



6月の行事予定

- 6日(火) 大島地区総体(~16日)
- 7日(水) ノメディア・ノー部活デー
- 10日(土) 徳之島の文化に関する講話(いせんクリエイト)
- 14日(水) ノメディア・ノー部活デー, テスト前部活動休止期間
- 16日(金) 二者相談(~20日)
- 18日(日) クリーン作戦
- 21日(水) 期末テスト(~23日)
- 26日(月) 学級弁論大会(~28日)
- 27日(火) 第2回PTA運営委員会
- 29日(木) 食に関する講話



地区総体
激励式

最後の夏! 大島地区総体

競技	日程	会場
サッカー	8木・9金	旧工業グラウンド(奄美市)他
軟式野球	6火~8木	徳和瀬運動公園野球場(徳之島町)
バレーボール	6火~8木	りゅうゆう館(龍郷町)他
剣道	6火	金久中学校体育館(奄美市)
陸上競技	14水	名瀬総合運動公園陸上競技場(奄美市)
卓球	6火・7水	砂美地来館(与論町)
相撲	16金	太陽が丘相撲場(奄美市)

※5/31現在の予定です。今後の台風の動きによって変更の可能性があります。

おめでとう!



準優勝 第40回全日本少年軟式野球大会鹿児島県大会

◆1年生 宿泊学習 (5/23・24)

天候の関係で残念ながらいくつかプログラムを変更しましたが、普段できない体験活動を通して自然を満喫した2日間になりました。

23日(火) マリンアクティビティ・グリーンアドベンチャー



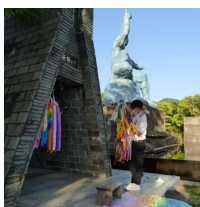
24日(水) クラフト体験



◆2年生 修学旅行 (5/23~25)

異国情緒あふれる長崎では平和学習や自主研修に取り組み、3日目のグリーンランド(熊本県)では時間いっぱい楽しい時間を過ごしました。天気にも恵まれ、心に残る修学旅行となりました。

23日(火) 徳之島→長崎(原爆資料館・平和公園・被曝体験講話)



24日(水) 長崎(自主研修)→佐賀(手びねり体験・宇宙科学館)



25日(木) 熊本(グリーンランド)→徳之島



◆3年生 職場体験学習 (5/23~25)

町内の16の事業所様にお世話になりました。初めは慣れない作業に戸惑ったところもあったようですが、働くことの意義を体験的に学びながら、これからの生き方や職業について考えることができました。

